

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標

- 一人ひとりの子どもを大切にしながら明るく活気ある学校づくりを目指します。
- ・ 「授業が楽しい」「自分の考えを伝えたい」「友達のことを聞きたい」と実感できる授業づくりを推進し、子どもの表現を大切にしながら学力向上を図ります。
- ・ 一人ひとりにとって、安心し、自信をもって、生き生きと生活できる場となるようにします。
- ・ 健康な心身をつくるための生活習慣を形成していきます。
- ・ 小規模のよさを生かし、全校児童にきめ細やかな対応ができる学校をにします。
- ・ 小中一貫教育推進ブロックや家庭・地域と連携を図り、信頼される学校づくりを進めます。

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野		取組目標	具体的取組
豊かな心		よりよい人間関係を築くために「道徳の時間」や日常の指導を大切に、子どもの自尊感情を育てるとともに、自分だけでなく、友達も大切にする気持ちを育てる。	①子どもの実態をもとに、「生きる」や「福島道徳資料」、教科書などの教材を活用し、全学級の道徳授業公開を年1回以上実施する。 ②高学年を中心に朝の挨拶活動を活発にする。 指針1 「道徳の時間」の充実 ③たてわり活動など異学年同士の活動を充実させ、友達への思いやりや優しい心を育んでいく。 指針2 体験学習の充実 ④人権週間の取組を充実させる。 指針3 確かな人権感覚・意識の育成
	担当		

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

- ・ 6年生の挨拶運動など、地域、保護者、学校が一体となって取り組んできた挨拶運動により、自分から挨拶する児童が増えてきている。
- ・ たてわり活動や人権週間の取組を通して、人を思いやる気持ちは育ってきた。今後も、一人ひとりが活躍する場を設け、一生懸命に取り組ませることにより、更に、自己肯定感が高まるようにしていきたい。
- ・ 小規模校なので、異学年であっても互いをよく知っており、まとまりがある反面、競い合う中で互いを高め合う面が少ない。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針1 「道徳の時間」の充実（必須項目）

- ・ 全学級の道徳授業を家庭、地域（年1回以上）に公開する。
- ・ 道徳的価値について自ら考えるきっかけとなるよう、「生きる」や「福島道徳資料」、教科書などの教材を活用する。
- ・ 道徳授業力向上推進校の授業参観等で学んだことを、道徳の時間が充実するように伝えていく。
- ・ 6年生の挨拶運動をきっかけとして、挨拶を進んでできるように自分の挨拶を振り返ったり、朝会等で随時うながしたりして、子どもたち自身が自分の課題を見つけ、解決していけるようにする。 【視点1】

指針2 体験学習の充実

- ・ たてわり集会や年2回のたてわり給食、たてわり遠足などを通して、学級集団だけではなく異学年同士のつながりを築くようにする。【視点3】

指針3 確かな人権感覚・意識の育成

- ・ 人権週間では、友達や自分のよいところを探すという活動を通して、人権意識を向上させ、自己肯定感を高めたり、互いの違いやよさを認め合ったりしていく。全学年で取り組み、取り組んだことを全校に伝え、共通理解できるようにしていく。【視点4】